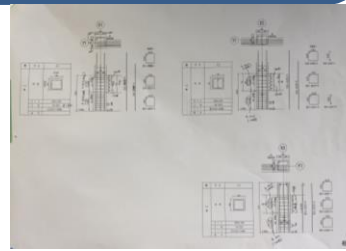


## 令和3年度 建築科の取り組みNo.2

進路選択を目の前に迎えている3年生の授業は、「プロになるため」の実践的な授業が多くなります。

### 3年 実習 「鉄筋コンクリート構造 鉄筋」

「鉄筋の技能マイスター」が来校されて、図面を元に、鉄筋コンクリートの柱・はり・壁を支える鉄筋の組立と建築構造設計・施工管理について学びます。何もないところから、建築物の骨組みができていくことを体感できる授業です。今年の3年生は、2年生までに、鉄筋技能検定に合格して「鉄筋技能士3級」を取得している生徒も多くます。



↑ 授業開始前

↑ 図面の一部

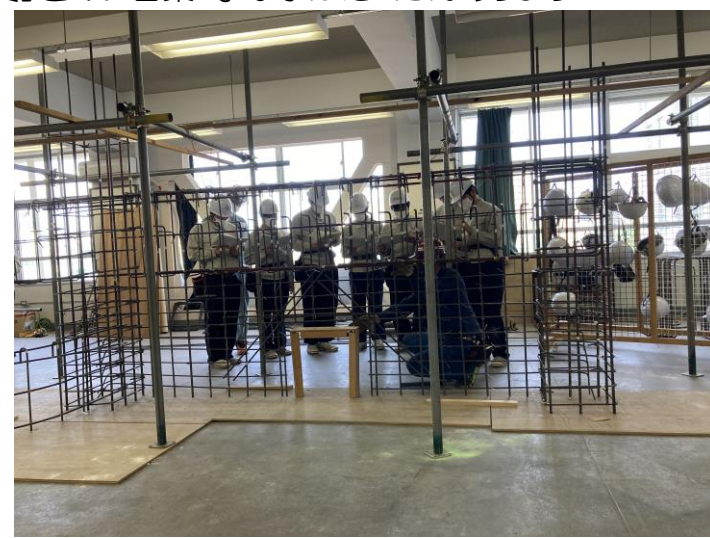
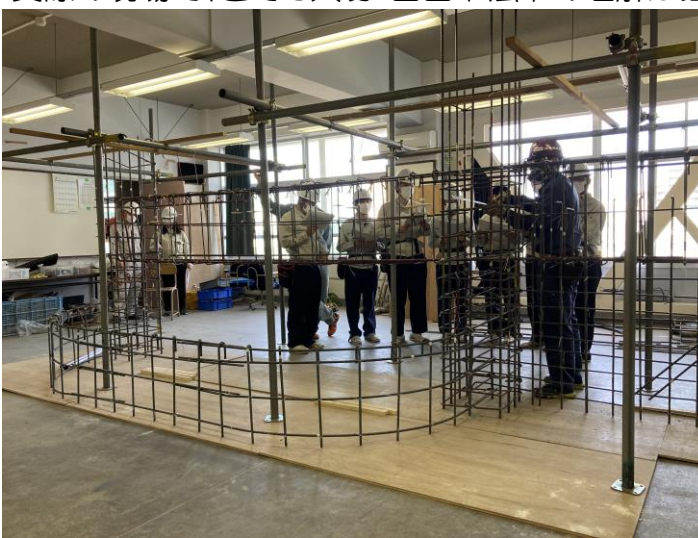


← 円形バルコニーの手すり部分の鉄筋の組立

安全に行って行くために、周囲に気を配りながら行っていきます。

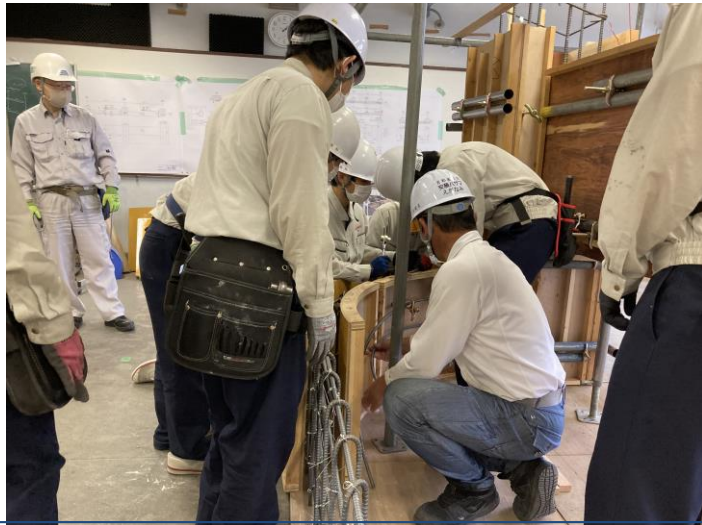
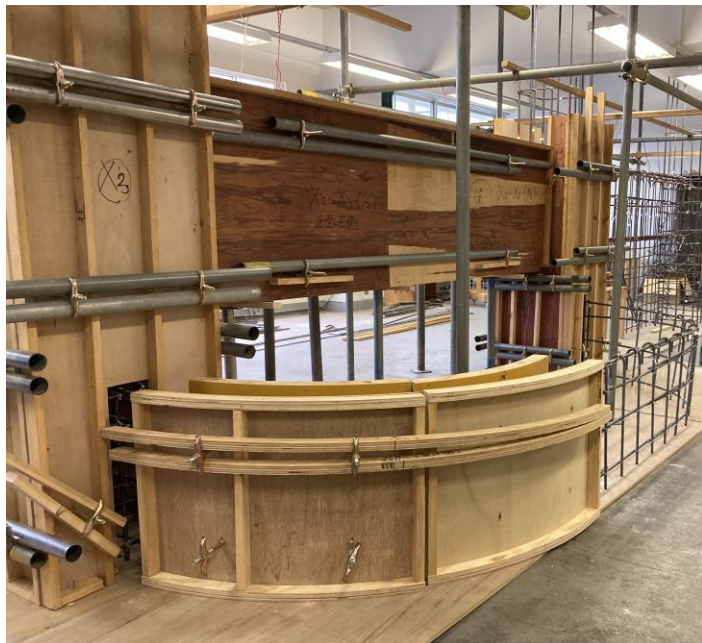


↓ 完成後は、図面と照らし合わせてチェックを行います。マイスターの先生からは「完成後のチェックは、実際の現場で、とても大切。図面や法令の理解が必要」とのお言葉。学ぶ事がたくさんあります。



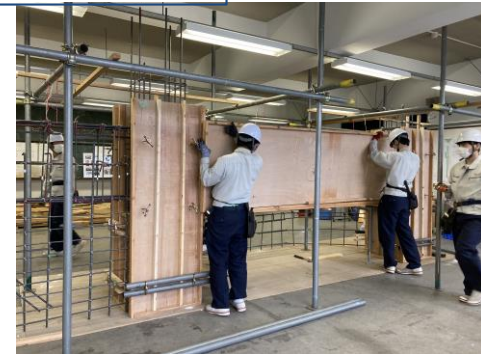
### 3年実習「鉄筋コンクリート構造 型枠」

前回の鉄筋実習に続いて、「型枠のマイスター」が来校して、堅固な鉄筋コンクリートの柱・はり・壁の形をつくるための型枠をつくり、型枠の建て込みとコンクリートを流し込んだ時に型枠が動かないために固定する方法を学びます。今回の実習では、曲面バルコニー手すりと上階のベランダの床部分の型枠の設置方法も学びます。

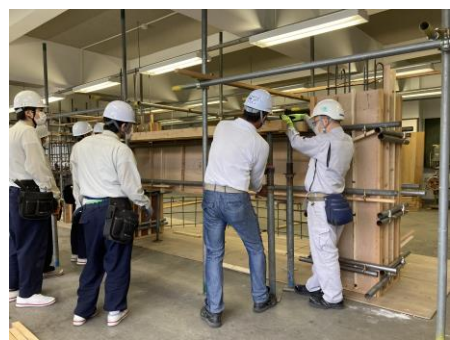
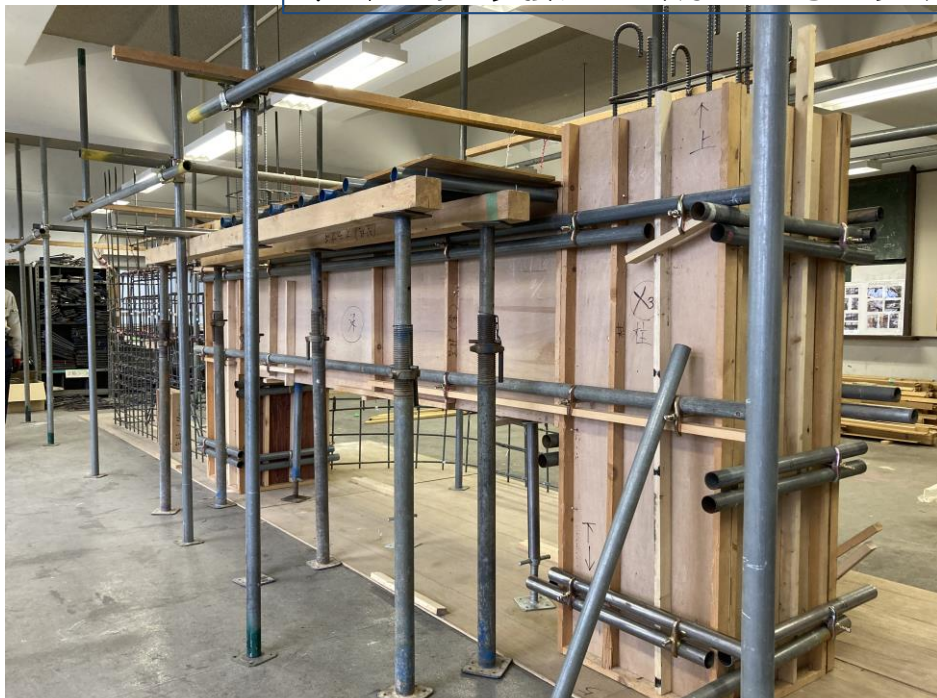


← ↑ 曲面バルコニー手すりの型枠設置・固定  
外側は木の集成材・内側は型枠の曲率に合わせて曲げた鉄筋で締め付けて、コンクリートが流れ出ないようにします。

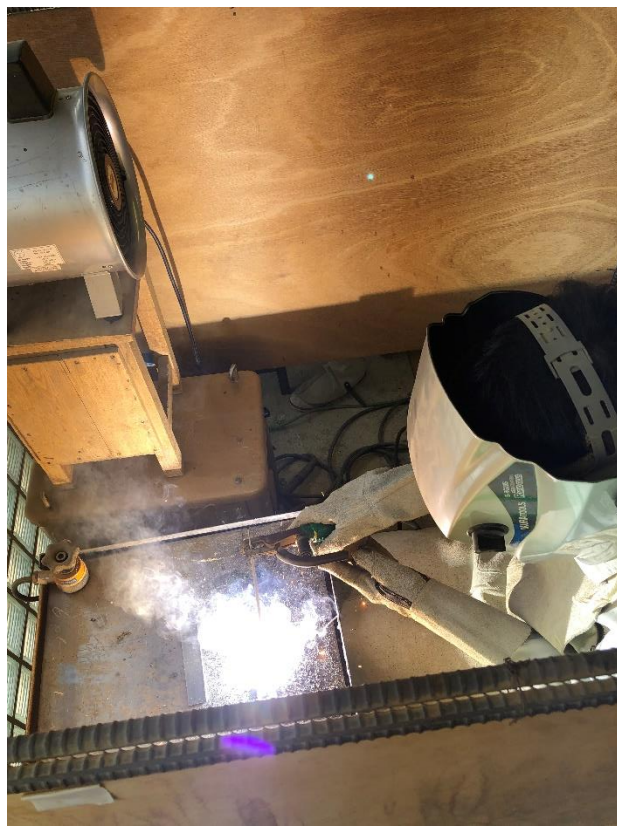
↓ 前回の鉄筋のまわりに型枠を設置・締め付け



↓ 上階ベランダ張ね出し部分をつくるための方法を学びます。



実習「アーク溶接」 鉄と鉄を溶接で接合する方法と理論を学習後、実際に溶接します。



実習「空気調和設備実習」 冷暖房したときの風量が設計通りに吹き出しているかを計測して確かめます。

